

東部市場跡地活用の検討に係る ワークショップ通信

No.02
2025年3月発行

第2回ワークショップ テーマ「東部市場跡地の活用アイデアを考える」



令和7(2025)年2月12日(水)安芸区役所にて、第2回ワークショップが開催されました。令和6(2024)年11月28日(木)の第1回ワークショップに続き、地元の地域団体の代表者など約20名のみなさまにお集まりいただきました。このワークショップの目的である「東部市場跡地をどのように活用するか」を全2回のプログラムを通じて参加者のみなさまと考えることができました。ワークショップでは東部市場跡地の活用イメージについて様々な意見が出され、今後の検討につながる貴重なワークショップとなりました。

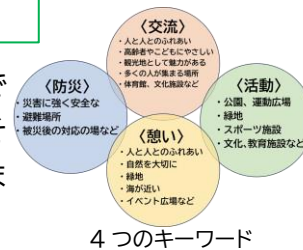
第2回ワークショップの概要

当日のプログラム

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. 開会・挨拶 | 5. グループ発表 |
| 2. ファシリテーター挨拶 | 6. ディスカッション・まとめ |
| 3. 情報提供 | 7. 今後の進め方 |
| 4. ワーキング
(東部市場跡地活用のアイデアを考え作成する) | 8. 閉会 |

情報提供

情報提供では、第1回ワークショップの振り返りを行い、続いて、ワーキングで出された意見を大きく4つのキーワード（交流、活動、憩い、防災）に整理し、それらのキーワードの機能を有している施設（道の駅や公園など）の事例を紹介しました。



4つのキーワード

ワーキング～東部市場跡地活用のアイデアを考え作成する

ワーキングでは、初めに第1回ワークショップで作成した「東部市場跡地 魅力と問題点図」・「未来の木」を各グループで確認しました。

そして、「未来の木」の意見を踏まえ、各自で東部市場跡地活用の「目指す姿」「施設イメージ」「活動・機能イメージ」を考えて付箋紙に記入しました。次にグループで意見交換を行いながら東部市場跡地の「目指す姿」とその実現に向けた「施設イメージ」「活動・機能イメージ」を跡地活用アイデア図にまとめました。

ワーキングで出された主な意見

1 目指す姿

地域住民の「交流」
「ふれあい」の場所

多くの人が集まり
「賑わい」を創出する場所

民間による
「雇用創出」「産業振興」に
より地域を活性化する場所

日常的に利用する機能等とあわせて
・「防災」に強い場所づくり
・「循環型社会」としてここだけで完結しない場所（地元の食材を東部市場跡地で調理し、地元の高齢者等へ配送する）

2 施設イメージ

ふれあいや交流、
賑わいが盛んになる施設

広場や多目的スペース(公園、遊具)、芝生、イベントスペース、フードコート、水族館、図書館、映画館、体育館(スポーツ施設)など

福祉施設

老人ホーム、こども園、病院、包括支援センターなど

雇用創出、
産業振興をはかる施設

工場用地、商業施設、道の駅、多目的テーマパーク、研修施設や会議室など

防災関連施設

災害学習施設、防災備蓄倉庫、避難所、仮設住宅敷地など

3 活動・機能イメージ

各種イベントの開催

地域交流イベント、フードフェスティバル、スポーツイベント、音楽フェス、企業と地元の合同イベントなど
水辺を活用したアクティビティ
SUP、ヨットハーバー、遊覧船、釣り場など

地域と企業が協力した体験イベントの開催

メタバース体験、ロボットとの交流など
経済活動
雇用の受け皿となる機能

地域に特化した機能

地産地消の機能、
瀬戸内文化の発信機能など

グループ発表～まとめ

ワーキング終了後、各グループで意見をまとめた「跡地活用アイデア図」について各グループの代表者が発表を行いました。

次に発表された意見についてファシリテーターよりまとめが行われ、「地域住民の交流・ふれあいの場所の必要性」「地元だけでなく外からも人が訪れる場」「賑わいを創出」「民間の力の活用」「防災機能の重要性」などの意見を全員で共有しました。



夢と現実を語る会（グループ①） カキフライチーム（グループ②） ふなっきー（グループ③） 安芸区を考える会（グループ④）

今後の進め方

今後はこのワークショップで出されたご意見やアイデアを東部市場跡地活用の検討に活かしていきたいと思えます。お忙しい中、ご参加くださいましたみなさまありがとうございました。



閉会の挨拶

お問合せ先

広島市都市整備局都市機能調整部跡地整備担当
(TEL) 082-504-2763 (E-mail) atochiseibi@city.hiroshima.lg.jp